

令和4年 第3回（6月）吉川市議会定例会

一般質問通告書

6月10日（金）			
質問者			
通告第 1号	10番	降旗 聡	
通告第 2号	14番	五十嵐惠千子	
通告第 3号	13番	小野 潔	
通告第 4号	15番	大泉 日出男	
通告第 5号	20番	松崎 誠	
通告第 6号	16番	赤出川 義夫	
通告第 7号	3番	稲葉 剛治	

6月13日（月）			
質問者			
通告第 8号	2番	稲垣 茂行	
通告第 9号	8番	雪田 きよみ	
通告第10号	5番	林 美希	
通告第11号	7番	飯島 正義	
通告第12号	17番	吉川 敏幸	
通告第13号	6番	遠藤 義法	

6月14日（火）			
質問者			
通告第14号	11番	伊藤 正勝	
通告第15号	1番	岩田 京子	
通告第16号	12番	齋藤 詔治	

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
通告第1号 10番 降旗 聡	「公共交通の充実と利用促進」について	<p>昨年12月、市民や公共交通事業者、国・県の関係者、有識者が参加していただくなか、「公共交通に関する意見交換会」が開かれました。</p> <p>市民の「移動手段の確保」に対する切実な意見、事業者の「コロナ禍での厳しい経営状況」、市の公共交通対策事業の現状など、情報交換と現状の認識が共有されたものと受け止めています。</p> <p>31.66km²を有する当市は、旭地区、三輪野江地区、吉川中央地区、南部地区、吉川美南地区それぞれで、課題も違っているものと認識しています。</p> <p>そこで、以下について市の見解を伺います。</p> <p>1) 今後の「公共交通に関する意見交換会」の開催予定（内容と時期）と、吉川市独自事業の展開（市民・事業者・行政の三位一体）の考えについて。</p> <p>2) バス事業者等が展開する「高齢者の移動支援などを目的としたフリーパス」がある。吉川版「市内バス事業者共通フリーパス」を社会実験として取り組んでみてはと考えるが、市の見解は。（9月20日のバスの日や、敬老の日、市民まつりに絡めた期間等で）</p>	市長 担当部長
	「生活道路・通学路の安全対策」について	<p>今年度の施政方針では、生活道路について舗装補修などの維持管理、通学路においてはグリーンベルトの設置や転落防止柵を設置し、安全対策に取り組むとしています。</p> <p>私は、これまで「生活道路・通学路の安全対策」について、ハード面やソフト面から問題提起をすると共に、交差点の改良や歩行者信号の設置、啓発看板・標識の設置など、安全対策について、地域や執行側と知恵を出し合い、取り組んでこられたと思っています。</p> <p>そこで、（第58号議案の事例もとりあげながら）具体的な生活道路・通学路の安全対策の進め方について、以下市の見解を伺います。</p> <p>1) 中央公民館北側交差点からJAさいかつ・いちよう通りまでの市道の補修、段差や勾配（傾斜）がある歩道の整備について。</p> <p>2) 道路補修（陥没等の整備）の対応の現状と今後の取り組みについて。</p> <p>3) 自転車通行レーンの設置促進について。</p> <p>4) 自転車損害保険の加入の実績（小・中学校児童・生徒）と加入促進、自転車乗車時のルールの啓発について。</p> <p>5) （自転車）車歩道の利用ルールの啓発について。</p>	市長 担当部長

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
通告第2号 14番 五十嵐 恵千子	1. 重い通学カバンの解消を	<p>先月、市内某小学校の保護者から、「小学校へ入学した娘が、学校から帰ってくるなり『ランドセルが重すぎる!』と泣きながら訴えたので、重さを量ってみたところ、ランドセル1.5kg、水筒1kg、クロームブック（ノートパソコン）1.2kg、その他諸々を合わせると、その日にもよりますが一番重い時で8kg、平均約6kg以上のランドセルをほぼ毎日背負い、片道2.5kmの距離を歩いている事がわかりました。身体への負担が心配です」と、重い通学カバンの解消を求める声をいただきました。文部科学省の統計によると、小学校1年生の平均体重は約21kg、米小児科学会では、カバンの重さは体重の10～20%を決して超えないこととしており、体重が21kgの場合2～4kgを超えない重さが望ましいとのことです。</p> <p>4年前、ランドセルメーカー「セイバン」が小学生らを対象に行った調査では、1週間のうち最も重い日の荷物重量は平均約4.7kgで、ランドセルの重さを含むと平均約6kg。小学生の約3割がランドセルを背負った時に痛みを感じているという結果であったそうです。現在、教科書の大型化やページ数の増加、それに加えGIGAスクール構想を推進するためのクロームブックなどで、登下校時の荷物は重量化の傾向にあります。そこで、以下お伺いします。</p> <p>2018年、公明党が「100万人訪問・調査」運動の中で、子どものカバンの重さを訴える保護者の声をキャッチし、国と地方のネットワークの力で重い通学カバンの負担軽減を推進し、文部科学省は都道府県の教育委員会や私立学校事務主管課などに対し、児童生徒が登下校時に持ち運ぶ教科書、教材、学用品の重さや量に配慮するよう促す事務連絡が通達されました。事務連絡では、家庭学習で使わない教材を学校に置いて帰る「置き勉」や、学期末における学習用具の計画的な持ち帰りなど、教育現場で実際に行われている工夫例を紹介し各学校に対して、これらを参考に対策を検討するよう求めました。当市は子ども達の登下校時のカバンの重さをどう認識され、この間、課題解決に向け「置き勉」をどのように検討・実施されてきたのか、各学校の現状と課題についてお伺いします。また、クロームブックについて、学校によっては毎日持ち帰り、自宅で充電して翌日の授業に備えているとお聞きしています。当市内小中学校のクロームブック充電について現状と課題をお聞かせください。</p>	市長 担当部長
	2. 高齢者等の見守り体制の拡充を	<p>当市においては、団塊の世代が75歳以上となる令和7年を見据え、昨年「第8期吉川市高齢者福祉計画・介護保険事業計画」が推進されています。介護保険制度の充実は勿論ですが、市内の高齢者等及びそのご家族から様々なご相談をいただく中で、特に、医療を必要とする在宅高齢者等の様態が急変した時の不安や認知</p>	市長 担当部長

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
通告第2号 14番 五十嵐 恵千子	(続) 2. 高齢者等の見守り体制の 拡充を	<p>症を抱える在宅高齢者等への対応が不安との声をいただいています。高齢者等の自立を支援し、尊厳を守りながら、在宅医療・介護連携施策や認知症施策等を地域住民と行政の協働で拡充していくことが特に重要と感じます。「高齢者の幸福実感の実現」に向け、以下お伺いします。</p> <p>①第8期吉川市高齢者福祉計画・介護保険事業計画の基礎資料とするために当市で実施されたニーズ・実態調査を踏まえ、見えてきた主な課題についてお伺いします。</p> <p>②当市においても高齢者が住み慣れた地域で安心して生活できるよう、吉川市要援護者見守りネットワーク事業が実施されています。現状と課題についてお伺いします。</p> <p>③認知症の高齢者数はさらに増加する事が見込まれることから、当市では認知症サポーター等の養成が推進されていますが、その取り組みと活動状況についてお伺いします。</p> <p>④徘徊が見られる要支援者、要介護者等に対しては、対象者の早期発見・事故防止を図るための「位置情報提供サービス事業」がありますが、利用状況と課題についてお伺いします。</p> <p>⑤国において、2025年には65歳以上の5人に1人になるとされる認知症。その在宅生活の安定に向けて、厚生労働省は今年度から、認知症の人と家族を一体的に支援する自治体への補助に乗り出しています。先日、その先進的な取り組みを実施されている所沢市にて、3つの事業を視察。その中の「1人暮らし高齢者等緊急通報システム」は、1,000人が登録されており、ご利用者が生活反応センサーで5時間反応無しの場合、市が委託する民間事業者のオペレーションセンターにつながり、市内の地域包括支援センターや協力機関と連携し、安否確認や場合によっては救急車の手配等を行います。また、高齢者等が迷い人・迷子になられた時や、災害時などにご家族と離れてしまった際に、現在の状況や避難場所などをご家族へ即時にお伝えする「トコロんおかえり QR」が実施され好評とのことでした。この事業は、協力してくださる市民やサービスを必要とする市民にオンライン登録サイトでID番号・ご家族のメールアドレスを事前登録していただき、所沢市地域全体で該当する人を見守り支え合う事業です。家族の介護負担軽減や市民の意欲向上、良好な家族関係の維持に繋がると、当事業の広がりを感じました。当市にとっても大変有効な事業であり実施すべきと考えますが、ご見解をお聞かせください。</p>	市長 担当部長

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
通告第2号 14番 五十嵐 恵千子	3. 吉川駅北口駅前ロータリーの新構造計画について	<p>令和4年度施政方針の主要施策（快適で持続可能なまちづくり）に「『JR武蔵野線吉川駅北口駅前ロータリー』については、現状の課題である交通広場内の渋滞緩和や通行の安全性を確保する構造について、埼玉県警との交通協議や公共交通事業者との協議を重ねてまいりました。また、歩行者にとって安全で利便性の高い歩道空間とするため、障がいを持つ方や、子育て世代の方など、それぞれの視点からのご意見をいただき、基本的な計画を作成してまいりました。令和4年度においては、事業の実現に向けた実施計画書を作成してまいります」とありますが、5月23日、全議員に対して吉川駅北口駅前広場の現状と課題についてご説明をいただき、「調整中のため、今後変更する場合があります」との前置きの下、現時点での案をお示しいただき、多くの質疑・応答がありました。以下、お伺いします。</p> <p>①改めてこの計画案となった経緯についてお聞かせください。また、今後、市民へのご説明やご意見をいただく機会をどのようにお考えかお伺いします。</p> <p>②来春には吉川美南駅東口開発において幹線道路が完成する見通しなどもあり、吉川駅への車の流れも変わってくると予測されることから、再度関係者と協議する予定とのご説明がありました。流れはいつ頃、どのように変わっていくとお考えかお聞かせください。</p> <p>③通行の安全性を確保するためにフラッグ式で20分以内無料駐車場を設置し、一般車両のロータリー進入をしないように要請することですが、すぐそばにスクランブル交差点もあり、その近辺は車の流れが変わることから渋滞や事故多発が予測されます。国会派の小野議員が、ロータリー内での車の接触事故発生件数をお聞きしたところ、ゼロとのご答弁でした。市民から一定のご理解をいただくためには、一般車両も含め、ロータリー内で完結する事が肝要であると考えます。市民からご意見をいただきながら、新たな時代の吉川駅となるよう、計画の見直しは慎重にすべきと考えますが、ご見解をお伺いします。</p>	市長 担当部長

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
<p>通告第3号 13番 小野 潔</p>	<p>新型コロナ感染症対策等及び社会経済対策について</p>	<p>国では5月25日、総額2兆7009億円の2022年度補正予算案が国会で審議入りを行いました。ロシアによるウクライナ侵略が拍車を掛ける物価高騰への対応や、今後の予期せぬ財政需要に迅速に対応するために必要とされるものです。</p> <p>新型コロナの感染状況も緊急事態宣言やまん延防止等重点措置のない大型連休（ゴールデンウィーク）が明け、感染者の増加が懸念されておりましたが、現在では減少傾向となっております。当市でも一時期は3桁の感染者が発生しておりましたが、現在では数人から十数人と落ち着いてきています、そこでお伺いいたします。</p> <p>1、新型コロナ感染症対策等</p> <p>①新型コロナワクチン3回目の接種状況について、6月5日に集団接種会場を一旦終了としていますがその事も含めご説明してください。</p> <p>②5歳から11歳の市内8医療機関での個別接種の状況については。</p> <p>③4回目のワクチン接種の計画についてお伺いいたします。</p> <p>④小中学校での感染、学級閉鎖等の状況について、また5月24日文科省より登下校時、屋外、体育館、プールでの体育の授業、部活動時でのマスクの着用について通知がなされましたが、当市での対応についてお伺いいたします。</p> <p>2、社会経済対策について</p> <p>①新型コロナ対応地方創生臨時交付金について、当市の令和4年度当初予算、今回の6月補正予算で種々計上されていますが、国の令和3年度補正予算（第1号）と令和4年度予備費を活用した新型コロナ対応地方創生臨時交付金予定額について、歳入額、歳出額、残金等をお伺いいたします。</p> <p>②地方創生臨時交付金を活用した「農業経営拡大・発展等支援事業費補助金」3000万円と「事業者連携発展支援補助金」3000万円の事業の状況についてお伺いいたします。</p> <p>③国の令和3年度補正予算（第1号）と令和4年度予備費を活用して「原油価格・物価高騰等総合緊急対策」として組まれた新型コロナ対応地方創生臨時交付金、約2億円と聞いています。今後の活用についてどのようなお考えかお尋ねいたします。公明党市議団として「ア 原材料高騰を鑑みて学校給食費を値上げしないためにも原材料仕入れ対策による負担軽減などの子育て世帯対策」「イ プレミアム付き商品券の発行」「ウ ひとり親家庭や生活困窮者や低所得者への市独自の支援」「エ 公共交通事業者支援」等をご提案いたしますがいかがですか。</p>	<p>市長 担当部長</p>

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
通告第3号 13番 小野 潔	ウクライナ支援等について	<p>①2月24日ロシアによるウクライナ侵攻をうけ、吉川市議会ではいち早く3月議会冒頭の3月2日「ロシアによるウクライナへの軍事侵攻に対する非難決議」を可決いたしました。当市においてもウクライナ支援の募金活動やふるさと納税を活用した寄付金のお願いなど早々の対応が行われました。募金活動の状況や他市に先駆けて「ふるさと納税を活用した寄付金」を行うと決めた英断についてお聞かせください。</p> <p>②ウクライナ避難民の受け入れは5月22日時点で1040人となったとの報道がされました。当市においてもふるさと納税を活用した寄付金360万円をウクライナ避難民支援事業費として今議会の補正予算に計上しております。市民の方々は様々な関係性でウクライナとのつながりがある方もいると思われまます。当市も受け入れ態勢がある事を周知していくことも大切と考えますがいかがですか。</p> <p>③日々日々残忍で残酷なロシアによる侵略の報道がされています、1日も早くロシア軍の撤退を願っています。今、この時だからこそご提案申し上げます、ウクライナに平和と安定が訪れた時、いち早くウクライナのしかるべき都市と吉川市とで姉妹都市の推進をと考えますがいかがですか。</p>	市長 担当部長
	生活道路の整備について	<p>①第6次総合振興計画前期基本計画では生活道路の整備について「誰もが安全に通行できるよう、生活道路の拡幅や舗装等の整備を計画的に推進します」と記載されております。ここで言う「計画的に」とはどのような背景、方向性、具体性、実現性を鑑みて記載されているのかお伺いいたします。</p> <p>②今年に入り市民の方より整備、補修の要望のあった箇所についてお伺いいたします。</p> <p>ア 南部けやき通りの信号機の交差点、中曾根小学校入口自転車店、文具店の交差点、もう一つ北へ行ったお弁当店の信号機交差点は、「亀裂が入り、凹凸がひどい。多くの小学生が通学で通る交差点でよろけたり、転んだりして危ない。」との声。整備を。</p> <p>イ 中野2区町会集会場前、市道2-328は、「亀裂、凹凸がすごく水たまりが広範囲にわたる。大型ダンプの通行箇所であるため傷みが早い。底面を通常より厚く舗装して欲しい。」との声。整備を。</p> <p>ウ 南配水場から木売新田交差を抜け吉川駅方面へ行く市道2-111は、「亀裂、凹凸、わだち、穴と危険箇所が多くいつ事故が起きてもおかしくない。」との声。整備を。</p>	市長 担当部長

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
通告第4号 15番 大泉 日出男	吉川市デジタルトランスフォーメーション(DX)推進計画について	<p>2021年9月にデジタル庁が発足しました。誰一人取り残されない、人に優しいデジタル化を掲げ私達の生活の身の廻りでも便利さと不便さが、ともに出くわす事は誰しも経験があると思います。例えば、オンライン手続や行政手続の簡素化で需要が高まる一方、高齢者や障がいのある方がそもそも使えないという格差も生じている現実もあります。総務省は、人に優しいデジタル社会の実現を目指し、デジタル活用支援推進事業計画を2021年5月に示し、デジタル格差解消に全小学校区での無料の講習会を展開していくと令和4年度予算に計上をしております。そこで3つの視点からお伺いいたします。</p> <p>①現在、市内での携帯キャリア会社では2つのショップが無料の講習会をしているようですが、今後、市として、公共施設を利用したスマホ教室・デジタル活用支援講習会をどのように展開をしていくのかご所見を伺います。(高齢者の方)</p> <p>②ある障がいをおもちの方からのご意見で、障害者手帳を提示する際の心理的な負担軽減、取り出す面倒さの軽減、使うのに便利であるような手帳があればよいと、ご相談がありました。吉川市デジタル・トランスフォーメーション(DX)推進計画のDXアクション3、地域社会のデジタル化の取組みに、「スマートフォン教室等のデジタル活用支援の推進」とありますように、埼玉県、大阪をはじめ全国141自治体で既に導入済であるスマホ向けアプリ・デジタル障害者手帳「ミライロID」を当市でも早速検討をすべきと考えますがご所見を伺います。</p> <p>③マイナンバーカードの登録普及促進については、DXアクション2に掲載されています。職員の皆様のご尽力により交付率は、現在、約42%前後まで推移し、ほぼ全国平均と伺っております。そこで、今までどのような方法で周知をし、そこで得た成果、今後のさらなる推進はどうされるおつもりか、また、課題についてもお伺いします。</p>	市長 担当部長

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
<p>通告第5号 20番 松崎 誠</p>	<p>1. 安全安心のまちづくりについて</p>	<p>市街化調整区域における道路事情については、何度か一般質問で取り上げさせて頂いております。通学路の道路整備、道路改良整備後の道路使用問題、大型車の通行量の多さから傷んだ道路、また慢性的な道路渋滞の解消の相談が市民の皆様から多く寄せられています。具体例を挙げて、お伺いします。</p> <p>①市道 1-104 号線から 1-110 号線、長年、東中学校の通学路として利用されている道路であり、また、地元の生活道路としても利用されていて道幅も狭く、地元からは道路拡幅の要望が出されている道路です。素掘りの用水路があったり、両サイドが田んぼの所もあったりと、道路拡幅には用地取得が必要な場所もありますが、いかがでしょうか。</p> <p>②上内川 225 番 1 地内で廃棄物事業者が利用している斜めの土地の場所では、数台ナンバーのついていない車両が、タイヤの下に簡単な台座をかませた状態で置いてあります。倒れた場合は危険と思われそうですが、いかがでしょうか。</p> <p>③市道 1-118 号線、かち橋から屋形前の道路は、交通量も多く、大型車も通る道路であります。舗装修理も所々なされて来てはいますが、小さな車で通行するとハンドルを取られる個所もある状態であります。全面的な道路整備が必要な時期ではないかと考えますがいかがでしょうか。</p> <p>④市道 1-117 号線から市道 1-114 号線、屋形前から江戸川堤防に接する道路は、木売落としを超えたところが狭くなっております。素掘りの用水路を柵渠整備することで道路の拡幅が出来るとの相談を頂いておりますが、用水路の整備の考えは。</p> <p>⑤玉葉橋付近の道路渋滞については、朝夕、慢性的に起こっております。今現在、江戸川防災ステーションの整備が進められており、県道・歩道の付け替えと、新たに交差点が整備されようとしています。道路整備によって道路渋滞の解消がされる工事となるのか、江戸川河川事務所と警察との協議はどのようになっているのかを伺います。</p>	<p>担当部長</p>

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
通告第6号 16番 赤出川 義夫	1. 都市計画道路越谷吉川線 吉川橋進捗状況について 2. 市内中学校の制服リユース事業について	吉川橋の工事の進捗状況と、完成予定及び開通式についてお伺いします。 子育て家庭の経済的負担の軽減と、資源の有効活用及び循環利用を推進するため、卒業や成長で不要になった中学校の制服やジャージ等を譲り合う制度をつくってはどうか。 これまで、中学校ではバザーなどにおいて不要となった制服等が再利用されていますが、特定の期間ではなく、安心して気軽に常時利用できる制服リユース事業を立ち上げてはどうか。また、現在行っている取り組みがあればお伺いします	市長 担当部長
通告第7号 3番 稲葉 剛治	部活（運動部）の地域移行について	① 市内の部活動の現状について ・現在の運動部について学校毎に部活の種類の違いはあるか、その理由を伺います。 ・部活動の活動時間、活動日数は学校・部活動の種類により違いがあるのか、その理由を伺います。 ・部活動の設置のニーズについてどのように把握し、そうした声をどのように受け止めているか。そうした声を現場に反映する場合、優先される内容、要因について伺います。部活動設置後についてどのような対応をしているか伺います。 ・外部指導者の活用について 活用状況(実施校、実施部活等)と課題を伺います。 ・部活動指導員の活用について 活用状況(実施校、実施部活等)と課題を伺います。 ・これまで実施している試験的な取り組みについて、どのような目的、狙いを持ち行っているか伺います。実施した結果どのような成果があったか伺います。 ② スポーツ庁、文科省が出した部活動の地域移行について ・“部活動の地域移行”の目的を市としてどのように受け止め、これまでにどのような動きをとっているか伺います。	市長 教育長 担当部長

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
通告第7号 3番 稲葉 剛治	(続) 部活(運動部)の地域移行について	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の方向性について 部活動の地域移行についてどの部署が担当し、どのような体制で、どのようなスケジュール感で取り組みを進めていくのか伺います。 ・部活動の地域移行について生徒、保護者の理解をどのように得るか考えを伺います。 	
通告第8号 2番 稲垣 茂行	1. コロナウイルス感染症「第6波」への対応及び「4回目」のワクチン接種について	<p>新たな変異株「オミクロン株」による「第6波」の感染は、今年1月以降全国で急拡大し、未だ収束に至っていません。</p> <p>当初、当市でも新規感染者が1日で100人を超える等、かつてないスピードで広がりを見せていましたが、ゴールデンウィーク前後から落ち着きをみせています。</p> <p>「オミクロン株」は「デルタ株」と比べ、重症化しにくく入院のリスクは低いものの、ケタ違いに感染力が強いと言われてはいますが、これまでの経過からみるとどうもそのようです。</p> <p>こうした中、より対象者を限定した「4回目」のワクチン接種が始まろうとしています。</p> <p>そこで、4回目接種の計画内容及びコロナ感染症の現状と取組み、また日常生活の回復と生活者・事業者等への支援、経済対策等について質問を致します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 「第6波」市内感染状況とこれまでのワクチン接種状況 重軽症、入院、ホテル・自宅療養、年代別接種者数・接種率等及び課題 2 埼玉県及び草加保健所医療体制の現状 3 4回目ワクチン接種について 対象者、接種方法、接種券送付と予約方法、基礎疾患有無の確認、実施期間・会場等 4 自宅療養者支援状況 5 マスク着用基準(屋外・屋内、公共施設) <p>(小中学校等)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 小中学校・保育所等での感染状況と予防対策の現状 授業方法(体育・音楽・調理実習等)、給食、各種行事、部活動等実施等 2 小中学校、保育所等でのマスク着用基準 	市長 教育長 担当部長

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
通告第8号 2番 稲垣 茂行	(続) 1. コロナウイルス感染症「第6波」への対応及び「4回目」のワクチン接種について	(日常生活の回復と経済対策) 1 各種イベント開催の考え方。公共施設での感染対策と利活用促進(フレイル対策含む) 2 ワクチン接種証明書の利活用について 3 住民税非課税世帯や事業者等への支援及び産業振興支援事業の取組み	市長 教育長 担当部長
	HPVワクチン接種の積極的勧奨再開にあたり、正しい情報の提供を	<p>子宮頸がんの原因となるヒトパピローマウイルス(HPV)の感染を防ぐワクチンの定期接種は平成25年4月1日から始まりました。</p> <p>しかし平成25年6月14日、厚生労働省は「ワクチンとの因果関係を否定できない持続的な疼痛の発生頻度等がより明らかになり、国民に適切な情報提供ができるまでの間、定期接種を積極的に勧奨すべきではない」として、積極的勧奨差し控えを通知(健康局長)しました。</p> <p>以降、審議会において、①ワクチンのリスク(安全性)とベネフィット(有効性)を整理 ②ワクチン接種後に生じた症状に苦しんでいる方に寄り添った支援をどう進めて行くのか ③ワクチンの安全性・有効性等に関する情報提供をどう進めて行くのか。を検討してきました。</p> <p>令和3年10月1日・11月12日、厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会副反応検討部会と薬事・食品衛生審議会医薬品等安全対策部安全対策調査会の合同会議が開かれ、HPVワクチンの積極的勧奨の取扱いに関する議論と結論が出されました。</p> <p>結論は「積極的勧奨を差し控えている状態を終了させることが妥当」。これを受け、厚生労働省として来年度からの積極的な勧奨の再開を決定(令和3年11月26日健康局長通知)。</p> <p>積極的勧奨は9年ぶりの再開となりますが、実施にあたり吉川市としての基本的な考え方及び実施内容について質問を致します。</p> <p>今回の質問を通して求めたいことは、ワクチンのリスクと有効性についての正確な情報提供を行うことです。</p> <p>1 HPVワクチン接種の根拠、理由 2 実施内容(12歳から16歳及びキャッチアップ接種) 対象者、実施時期、案内の内容、申し込み方法、接種場所等 3 副反応発生時の対応 4 「積極的勧奨差し控え期間中」のワクチン接種状況</p>	市長 教育長 担当部長

質問者	質問事項	質問要旨		答弁を求める者
通告第8号 2番 稲垣 茂行	(続) HPVワクチン接種の積極的勧奨再開にあたり、正しい情報の提供を	5 子宮頸がん検診についての考え方と実施内容 6 小中学校との連携 性教育における子宮頸がん等に関する教育の実情、対象学年と内容		
通告第9号 8番 雪田 きよみ	1. 介護保険制度の充実を	①認知症初期集中支援チームは、家族の訴えなどから認知症と疑われる人を早期の段階で支援する専門家チームであり、2019年9月末には全市町村に配置されました。吉川市の設置状況と具体的な活動について、お聞かせください。 ②昨年、2度にわたり認知症高齢者見守りネットワークについて課題を指摘いたしました。市の答弁は「これが十分と思っているわけではない。高齢部門とも今後話をしていきながら、できるだけこの事業が良い形で活用されるよう取り組んでいきたい」というものでした。その後の検討状況をお聞かせください。 ③要介護認定を受けていれば、身体障害者手帳を持っていなくても「障害者控除対象者認定書」の交付を受けることができ、「特別障害者手当」を受給できる場合があります。 要介護4・5の認定者数と「障害者控除対象者認定書」の発行部数、特別障害者手当受給者数をお聞かせください。 ④昨年11月、政府は「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」を閣議決定し、保育士等・幼稚園教諭、介護・障害福祉職員を対象に賃上げ効果が継続される取組を行うことを前提として、収入を3%程度(月額9,000円)引き上げるための措置を今年2月から実施するとしました。介護職員については今年2月から9月分までの給与に関し、県から各事業所に直接10分の10の補助金が支払われています。実際に3%賃金は上がっているのでしょうか。現状をお聞かせください。 ⑤民間プールを活用した通所型サービスが総合事業として位置づけられ、予算化されています。3月議会では、まだ十分に制度設計ができていないとの答弁でした。その後の進捗状況をお聞かせください。		市長 担当部長
	2. インボイス制度について、関係する事業者への十分な周知を	これまで消費税の納税を免除されてきた小規模の事業者に新たな税負担がのしかかるインボイス(適格請求書)制度が、来年10月から導入されようとしています。 ①市内免税事業者数をお聞かせください。 ②既に登録がスタートしています。登録状況をお聞かせください。 ③免税事業者に対し、制度の十分な周知が必要かと考えます。市の対応をお聞かせください。		市長 担当部長

質問者	質問事項	質問要旨		答弁を求める者
通告第9号 8番 雪田 きよみ	(続) 2. インボイス制度について、関係する事業者への十分な周知を	④シルバー人材センターの登録者数とその対応についてお聞かせください。登録者のみなさまにどのような説明がなされたのか、具体的にお聞かせください。 ⑤農業従事者のみなさまの対象件数・登録状況・説明状況をお聞かせください。 ⑥この制度が市税に及ぼす影響について、お聞かせください。 ⑦制度のスタートにより、経営難に陥る事業者が続出するのではないかと危惧しています。市の見解と対応についてお聞かせください。		
	3. 性教育＝人権教育の充実を	昨年3月、旭川市では中学2年生のいじめ被害者が凍死体で発見されるという痛ましい事件が起きました。いじめの内容は想像を絶するものであり、性教育を人権教育として充実させる必要性を改めて感じます。 来年度からは文科省が推進する「生命(いのち)の安全教育」が本格実施されますが、その範囲にとどまらず「からだの権利」についての教育が重要と考えています。市の見解をお聞かせください。		市長 教育長 担当部長
	4. 物価高騰の中で、市の学校給食費への考え方は	総務省の発表によると、4月の全国消費者物価指数は前年同月と比べて2.1%上昇しました。食材や光熱費が高騰する中で、学校給食の現場では食材の変更・品数の削減などが余儀なくされていると言われていています。市の学校給食の現状と、今後の対応について考えていることがあればお聞かせください。また、保育所の給食についてはいかがでしょうか。		市長 教育長 担当部長
通告第10号 5番 林 美希	1. 子育て支援について	①特性がある子どもへの支援と連携について ・子ども発達センターと学校の連携について／現状と課題は ・放課後等デイサービスと学校の連携について／現状と課題は ・特別支援学級に在籍し、学童へ通う児童について／人数推移は。学校との連携は。学童保育施設へのフォロー体制の現状と課題は ・市外の特別支援学校へ通う児童生徒について／支援を受けるための申請手続き関連以外に、市との関わりの内容は ②市内すべての子どもに関わる施策全体の理念は 0-18歳すべての子どもに関わるすべての事業…母子保健、保育、教育との連携、貧困、障がい、地域との関わりなどを包括しながら、市の独自の理念…協働や幸福実感などとも整合性が取れ、子どもに関わる施策全体の指針となる理念として言語化・共有されているか。 また、市民へも示されているか。		市長 教育長 担当部長

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
通告第 11 号 7 番 飯島 正義	1. 三輪野江南部地区工業団地開発 基本構想 (案) について	<p>市は三輪野江南部地区の開発を進めるとしています。</p> <p>市の新たな工業拠点として複数企業を誘致するため、面積は概ね 10～20ha 未満とし、2022年4月19日から市による工業団地開発基本構想 (案) の説明会が行われました。</p> <p>一方、2021年11月には、民間事業者による物流施設をメインとした土地の買収などの説明会が行われています。</p> <p>この2つの開発予定地は地図で見るとほとんど重なっています。</p> <p>①市は、新たな工業団地開発を進めるにあたって、「市内に進出を希望する新規企業のほか、事業拡張を希望する市内企業」としていますが、企業からの要請など何社からかあったのか。また、見込まれているのか。現在物流倉庫を建設するとして地権者と話し合いをしている企業との関係をどのように考えているのか。</p> <p>②今後の工業団地開発の手法と、県との協議はどのように進められているのか伺います。</p>	市長 担当部長
	2. 「吉川市非核平和都市宣言」を提案します	<p>①プーチン大統領はウクライナ軍事侵攻の中で「他国にない兵器を必要ときに使う」「みながそれを知るべきだ」と核の使用をちらつかせ世界に脅威を与えています。日本でも核兵器共有論などが語られるようになり、多くの国民、市民に不安を与えています。こうした状況の中で、核戦争の不安のない社会を実現することが、大切だと考えます。</p> <p>市の平和都市宣言を「非核平和都市宣言」とするべきだと考えます。市の見解を求めます。</p> <p>②コロナ禍により市の平和事業も自粛が求められてきました。しかし先日のバイデン大統領の来日時、岸田首相は「軍事費の相当な増額を確保」「敵基地攻撃能力を含め、あらゆる選択肢で排除しない」等の姿勢を示し、非常に危険と感じています。今こそ市の平和事業の大切さを感じます。今後の平和事業の取り組みについて伺います。</p> <p>③若い世代にも戦争の悲惨さや二度と戦争してはならないとの思いを継承するため、広島・長崎の平和式典への参加や折り鶴事業、平和大使派遣事業などに取り組む必要があると考えます。市の見解を伺います。</p> <p>④戦争を体験した方々が超高齢者となってきました。貴重な体験を語り継ぐための対策が必要と考えます。市の見解を伺います。</p>	市長 担当部長

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
通告第 11 号 7 番 飯島 正義	3. 第 5 号街区公園整備を早急に	① さくら医院の南西側に第 5 号街区公園があります。遊具もなく草が生い茂っている状況で一見公園には見えません。しかし、よく見ると道路公園課の看板が立てられています。この状況を市はどう認識しているか伺います。 ② さらにその看板には、「公園で遊ぶみなさんへ 危険なボール遊びは禁止です！」と書かれています。子供の遊び場の環境について考えを伺います。 ③ 公園の管理について市の考えをお聞きします。	市長 担当部長
通告第 12 号 17 番 吉川 敏幸	1. 男性トイレへのサンタリーボックス（汚物入れ）の設置について	(1) 尿漏れパッドが必要な男性にも配慮を 前立腺がんや膀胱がんの治療後、尿漏れパッドが生活に欠かせないケースがあるという。国立がんセンターの統計によると、令和元年（2018 年）に前立腺がん、膀胱がんと診断された方はそれぞれ約 9 万 2 千人、1 万 8 千人であり、前立腺がんにおいては 2018 年の男性部位別がん罹患数のトップとなっている。 1. 市の施設のうち、現在、男性トイレの個室にサンタリーボックス（汚物入れ）を置いている施設は何ヵ所か。 2. 市の施設の男性トイレにサンタリーボックスを設置することに対する市の見解を伺う。	市長 担当部長
	2. 物価上昇（コストプッシュインフレ）への対応について	(1) 現在の物価上昇（コストプッシュインフレ）による家計負担の軽減を。 帝国データバンクは、先月、国内の主な食品や飲料のメーカー 105 社を対象に調査を行い、そのうち約 6 割の 68 社が今年値上げをしたか、今後値上げをする予定があると回答したという。値上げの対象はおよそ 8,300 品目で平均の値上げ幅は 12%に上るといふ。このような物価上昇を受け、全国では給食を安価な食材に切り替えたり、デザートを削ったり、また、保護者負担を増やす自治体も出ているという。 1. 学校給食の予算額も増額せざるをえないと考えるが現状はどう対応しているのか。 2. 民間も含めた幼保育園の給食費の対応について市の見解を伺う。	市長 担当部長

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
通告第13号 6番 遠藤 義法	1. 吉川駅北口を利用しやすいロータリーとするために	<p>市は、吉川駅北口ロータリーの混雑解消を目的として、改修計画案を出しました。</p> <p>説明では、バス、タクシーなど公共交通車両を優先する視点から一般車両のロータリーへの乗り入れを抑制する。障がい者の駐車場を設置することから、一般車両の進入規制はできないが市民には要請する。などがありました。そこで伺います。</p> <p>(1) 公共交通の利用促進を図るための課題の把握と改善すべき点は。</p> <p>(2) 吉川美南駅東口へのバス路線運行についての事業者との協議内容、道路の整備計画は。</p> <p>(3) ロータリー内のバス停留所と一般車両の送迎用車両を分離した配置を考えたか。ロータリーに入らなくても乗降できる場所の確保（有料駐車場の案以外）はできないか。</p> <p>(4) タクシープールの台数を12台としているが、その根拠は。タクシープールを駅近隣に確保する考えはないか。</p> <p>(5) 市民からの意見、要望に対する対応と、今後の詳細設計、工事の計画は。</p>	市長 担当部長
	2. 安心・安全の水道事業のために	<p>水道管の老朽化による漏水や事故等の発生が全国で起き、早期の更新が求められていると強調されています。吉川市は、老朽管だけではなく、浄水場など施設更新も課題となっていますが、事業には財源確保が欠かせません。市は、水道ビジョン・経営戦略を策定し、50年先を見据えた現実的かつ具体的な取り組みをしていくとしています。そこで伺います。</p> <p>(1) 施設更新を含め取り組むべき課題とは何か。投資計画では、水道施設の更新に必要な費用は50年間で470億円と試算していますが、各事業の概算を伺います。</p> <p>(2) 事業と収入の格差解消に向け、①水道施設規模の適正化。②人員の適正化。③水道施設の適切な維持管理。④広域連携や官民連携の検討。⑤料金体系適正化の検討。の施策に取り組むとしています。それぞれについての考え方をお聞きします。</p> <p>(3) 国の補助制度活用や市の一般財源からの繰り入れ等財源確保策はないか。</p>	市長 担当課長
	3. 地域住民の生活環境を守る空き家対策を	<p>空き家対策の取り組みとして第3版の吉川市空き家等対策計画を策定し、担当も危機管理課から都市計画課に移管しました。予防対策や早期発見、早期対応など掲げながら、緊急の必要がある場合に限り、措置を講じる緊急安全措置も組み入れています。所有者の死亡などでの対応など難しい事例もあるかと思えます。そこで伺います。</p>	市長 担当部長

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
通告第 13 号 6 番 遠藤 義法	(続) 3. 地域住民の生活環境を守る 空き家対策を	(1) 緊急安全措置対応件数、行政代執行による解決数などこれまでの取り組み状況、特徴を伺います。 (2) 対策に時間がかかりすぎるとの意見もありますが、今後の対応もお聞きします。	
通告第 14 号 11 番 伊藤 正勝	1. 吉川市のコロナ感染状況 と今後の取り組み	<p>衝撃的なウクライナの状況。100 日余を経てなお長期戦の様相です。コロナ禍は第 6 波の波がなんとか鎮まり本格的に「With コロナの時代」に向き合うこととなります。今回はこの With コロナに焦点を合わせ吉川市の状況や今後の取り組みについて伺います。まちづくりについて今回は▽小松川工業専用地域のあり様について産業廃棄物の施設、事業所に焦点を合わせ質問を重ねます。関連して大場川改修の進捗状況それに吉川駅北口の整備について質問を致します。</p> <p>年明けから猛威を振るったオミクロン株の感染は 4 月以降急速に減少しています。</p> <p>①市内の感染者の状況。感染者の総計と 1 月から 3 月末、4 月、5 月それぞれの動向を。このうち市職員や会計年度職員の感染者データ。児童生徒、教職員、幼保育児の感染状況についても。</p> <p>②重症や入院、自宅療養者等の内訳は。食料提供等の給付の実状についても。</p> <p>③今年 1 月の第 6 波以降の感染予防対策とその内容。庁内の換気改善の内容。その他施設の改善は。(予防接種を除く)</p> <p>④今後の With コロナに向けての取り組みについて。市主催のイベント等主な変更事例。学校行事や授業、クラブ活動等の変更事例、内容。今後はどういうことになりますか。</p> <p>⑤「おあしす」や公民館等の公共施設利用基準の見直しの時期や動向について。公園、広場。校庭等の整備や開放の方針、考えは。吉川中学校や美南小学校の特別教室等の開放についての考えは。時期は。庁舎の会議室やコミュニティルームの積極的開放の考え。正面玄関は始業時前の開門を検討しては。鶴ヶ島市は 20 分前に開門しています。</p>	市長 教育長 担当部長
	2. 小松川工業工専問題 産業廃棄物事業所のあり 方等	<p>小松川工業工専地域。産廃の車が増え、交通安全や粉塵など環境の悪化が著しいとの声が届いています。実状をどう認識し改善を目指すことができるのか質問を重ねます。</p> <p>①事業所の数。立地企業の主な業種。従業員数の確認。市税の税収額。</p> <p>②産廃施設の数。その事業内容。廃棄物運搬のトラックの出入りの数。所有の数。</p>	市長 担当部長

質問者	質問事項	質問要旨		答弁を求める者
通告第 14 号 11 番 伊藤 正勝	(続) 2. 小松川工業工専問題 産業廃棄物事業所のあり 方等 3. 大場川改修の進捗は 4. 吉川駅北口改修問題	周辺の駐車場の概要を把握していますか。わかればご紹介を。 ③この3年から5年程度の苦情の実状。市の環境保全条例は役立っていますか。その対処は。小松川以外の市内の産廃事業所の数、実状は。 ④事態をどう認識し改善を図るのか伺います。 大場川の改修は下流の三郷と吉川境まで終了。吉川で工事着手の段階です。小松川の環境改善にも役立てることが出来るのではと考えます。 ①進捗の現状。整備の内容。 ②西大場川結節点から小松川にかけての整備計画。内容。スピードアップはできないか。第6次総振にも追加で明記してはと考えるが如何ですか。 市民期待の吉川駅北口広場の改修について第1次の計画案の説明があった。 ①今後のスケジュールは。 ②できればスペースの拡張や費用と効果。さらに周辺の動線や規制のあり様なども加え3案程度を示して意見を求め、集約してもと考えるが如何か。 ③これに合わせて吉川駅南口や吉川美南駅の広場のあり様も意見を求めています。 ④駅利用を念頭に道路網の整備やバスの運行、災害時等の規制や誘導策等も検討してはと提起します。ご見解を。		市長 担当部長 市長 担当部長
通告第 15 号 1 番 岩田 京子	1. SDGs の実現にむけた 「吉川市の農業」について	1) 令和4年度、吉川市農業経営拡大・発展等支援補助金の募集が始まり、5月31日に締め切られたところです。 ① 活用状況は。 ② 作付け計画の内訳は。 2) 地域循環共生圏を意識すれば、普通に人が食べるものを持続的に耕作し、地域で食べ支えることが大切です。生産者と消費者の距離が遠くなるほど、ましてや人間が食さないものを作り始めると、作り方に安全性の配慮が欠ける傾向があり、化学肥料や農薬などの多用に繋がる恐れもあります。吉川市の土壌や水・大気の汚染に繋がり、人々の健康に影響してきます。市としては、飼料米や加工用米ではなく、人のための食料を作り続けるための施策が求められますが、どのように考えていますか。 3) 市は支援の対象をチャレンジする方としていますが、近隣市町の多くは種苗そのものに補助金を出し、お米を作る全ての方への支援に努めています。市としての今後の姿勢についてお聞きします。 4) 昨今、ネオニコチノイドの神経への影響についての問題が注目されていますが、水稲においては、育苗時に最も多用されるようです。吉川市の環境、子ども、		市長 担当部長

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
通告第 15 号 1 番 岩田 京子	(続) 1. SDGs の実現にむけた「吉川市の農業」について 2. SDGs の実現にむけた「グリーン購入」について	<p>いのちを守るためにも、特別栽培米のように、種を温湯殺菌し、農薬を使わない育苗をすすめることが非常に重要だと考えています。市では特別栽培米等の更なる積極的な取組みについてどのように考えていますか。</p> <p>2050 年カーボンニュートラル宣言、プラスチック資源循環促進法などを受けて、昨年グリーン購入法も改定されました。グリーン購入は品質や価格だけでなく、環境負荷の低減に努める事業者から優先的に製品を購入することで、消費者側から環境問題を解決することができる実践的な取組みで、持続可能な社会構築に欠かせません。</p> <p>① 改定のポイントは。 ② 庁内での周知と取組み状況は。 ③ 自動販売機の現状と今後のあり方について。 ④ 学校給食での有機農産物の導入についての検討は。 ⑤ 吉川市のグリーン購入率 51.75% (令和 3 年 12 月現在) というのですが、目標は。 ⑥ 目標に向けて、具体的に力を入れるところは。</p>	市長 教育長 担当部長
	3. 埼玉県東南部地域生物多様性ガイドラインを参考に「緑の基本計画 (平成 10 年～32 年)」の改訂を	<p>1) これまで都市開発や公園管理等、市における「緑」に対する認識の甘さを指摘してきました。</p> <p>① 生物多様性ガイドラインについて、都市整備部門としての認識について。 ② 緑の基本計画の改訂の必要性について。</p> <p>2) 令和 2 年までの緑の基本計画に「指定樹林」等、環境行動計画に「保存林の指定」の項目があります。</p> <p>① 指定樹林と保存林の違い。 ② 吉川市の指定樹林・指定生垣・指定樹木の数。 ③ 保存林の有無。 ④ 所有者に整備補助金など出す予定の有無。 ⑤ 大沢雄一居宅跡地は保存林等の指定の予定。当地の位置付け。</p>	市長 教育長 担当部長
	4. 大沢雄一居宅跡地整備事業について	<p>大沢雄一居宅跡地は、令和 3 年・令和 4 年の森林環境譲与税 (1100 万円) を充て整備し、整備後に森林教育に活用するという計画が示されています。</p> <p>① 当事業が決定するまでの経緯について。 ② 当地利活用の所有者との契約について。(使用期限・活用の仕方・費用・樹木剪定の権利) ③ 整備は誰のどのようなアドバイスのもとで進められているのか。整備計画は。</p>	市長 教育長 担当部長

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
通告第 15 号 1 番 岩田 京子	(続) 4. 大沢雄一居宅跡地整備事業について	④ 整備後の管理計画は。管理責任者は。管理費は。 ⑤ 森林教育の場としてふさわしいのか。環境課として森林教育の計画をどのように提案しているのか。 ⑥ 前回の森林教育の質問に対し「教育部・こども福祉部と連携して取り組む」と答弁があったが、具体的にどのような検討がされているのか。 ⑦ これまで志教育の一翼を担ってきた大沢雄一氏ですが、居宅跡地整備に対して教育委員会としての提案は何かしているのか。 ⑧ 整備に森林環境譲与税を充てるのか。	
通告第 16 号 12 番 齋藤 詔治	吉川市のまちづくりの現状について	1 三輪野江南部地区の工業団地開発構想に関する意向調査の実施と地域説明会が開催されました。意向調査は、〔令和 4 年 4 月 吉川市長 中原恵人、土地所有者の皆様へ 新たな工業団地開発の検討を進めており、この度、別添のとおり、「三輪野江南部地区 工業団地開発 基本構想(案)」を作成させていただきました。又、(別添「三輪野江南部地区まちづくりニュース」第 1 号参照)をさせていただきます。〕等の資料が提供配布されています。何点かお伺いいたします。 ①具体的な三輪野江南部地区 工業団地開発 基本構想 (案)はどのような方々と検討し行っているのか。また、地権者皆様の御意見等が反映されているのか。 ②意向調査区域は、どのような観点から地番等を選定したのか。 ③意向調査の内容、調査の結果は。 ④地域説明会が 5 会場にて開催されたが、出席者数、会場における説明内容、質問並びに答弁等は。 ⑤この地域は、三郷インターのフルインター化及び越谷流山線バイパスの開通に伴い、地域の利便性が向上する事から、既に民間企業により地域の活性化に資する物流施設をメインとした開発事業が計画されて、土地の買収が進んでいると聞いているが、これらの民間企業並びに土地所有者への市の考え、対応は。 ⑥開発行為の手法として、都市計画法第 34 条による土地所有権者と開発事業者の合意による地区計画を吉川市長の区域指定権による開発が考えられます。取り扱いは。	市長 担当部長

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
通告第 16 号 12 番 齋藤 詔治	(続) 吉川市のまちづくりの現状 について	<p>2 吉川市農業パーク基本構想が策定されました。農業における多くの課題等に対応するため、次世代の視点を取り入れた持続可能な産業としての独自の都市近郊農業を確立し、交流人口の拡大や高齢者・障がい者等の雇用機会の創出、担い手の育成を図っていくための拠点形成の基本構想を策定したとあります。計画候補地は、構想の上位計画である第 6 次吉川市総合振興計画で、「魅力ある農業の振興」を達成するための施策の一つとして、三輪野江地区が農業の拠点として位置づけられています。この計画候補地は市街化調整地域ですが、農業振興区域内の農用地から除外されている区域(市街化調整地域の白地)です。現在、既に多くの工場や資材置場・駐車場として使用されている地域です。吉川市の農業の活性化や農業経営の向上を図るためには、首都近郊圏に位置しているこの吉川市の広大な農地を利活用し、農業による SDGs (エス・ディー・ジーズ)「持続可能な社会の実現」に向け、吉川市の農業の拠点は、農業振興区域内の農用地(市街化調整地域の青地)を候補地にすべきなのは。</p>	市長 担当部長
		<p>3 吉川美南駅前公共施設整備基本構想・基本計画が令和 4 年 3 月に決定しました。事業スケジュール(想定)では、令和 4 年度事業者の公募、令和 5 年度以降に設計、土地関連契約の締結、建設、複合施設の開業となっております。この計画地は、吉川美南駅東口の駅前であり、面積約 12,000 m²(吉川市の所有地が約 6,000 m²、土地区画整理事業保留地が約 6,000 m²)です。エネルギーや建設資材の価格の高騰等により、先行きが見通せない昨今の情勢を踏まえ、越谷市の越谷サンシティの再開発事業が、1 年延期になりました。吉川市は事業スケジュール(想定)どおりに実施するのか。</p>	市長 担当部長
		<p>4 吉川美南駅東口周辺地区土地区画整理事業の進展状況及び同区画整理事業地区内の令和 3 年 4 月以降の盛土実施量は。</p>	市長 担当部長